

Title	社会学研究科紀要第64号掲載論文
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2007
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学：人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.65 (2007. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000065-0153">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000065-0153</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 社会学研究科紀要第64号掲載論文

### 内 容

論 文	M・J・アドラーの「進歩主義」教育批判と J・デューイ …………… 安 藤 真 聡 「親」形成の教育をめざして ——遠山啓の教育思想—— …………… 小 口 鈴 実 オンライン政治討論の熟慮民主主義的可能性に関する研究 ——内容分析によるアプローチ—— …………… 金 鐵 鎔 インターネットにおける「ブログ炎上」に関する一考察 ——コミュニケーション状況を取り巻く規範の概念を手がかりとして—— …… 平 井 智 尚 エピソード記憶の手がかりと意味記憶の手がかりの利用に対する作動記憶の役割 …………… 佐々木 尚 志 社会学における制度論——メルロ＝ポンティとの「交差」から—— …………… 清 水 淳 志 ボリビアにおけるアフロ系住民の民族アイデンティティ構築 ——音文化「サヤ」をめぐる動態の一考察—— …………… 梅 崎 かほり ラダックにおけるルー信仰と病い …………… 宮 坂 清 「炎黄子孫」と「中華民族」 ——近代中国における国民統合をめぐる二つの言説—— …………… 楊 志 強
書 評	野上元著『戦争体験の社会学——「兵上」という文体』 …………… 塚 田 修 一
平成 18 年度大学院高度化推進研究費助成金報告	アメリカ合衆国における liberal education の史的展開に関する研究 ——St. John's College の「ニュー・プログラム」(1937 年) に着目して——… 安 藤 真 聡 顔刺激における予期からの逸脱認識の神経活動 ——脳磁図による研究—— …………… 石 津 智 大 アフロ系ボリビア人による伝承曲「サヤ」の再評価とコミュニティの変容 ——2006 年度南ユンガス地方チカロマ村での調査から—— …………… 梅 崎 かほり 「国民道徳論」の形成に及ぼした儒学の影響に関する研究 ——井上哲次郎の儒学観と教育思想をめぐる—— …………… 江 島 顕 一 拒否に対する感受性とストレスコーピングとの関係の検討 …………… 小 川 万理子 オンライン政治討論の熟慮民主主義的可能性に関する研究 ——内容分析によるアプローチ—— …………… 金 鐵 鎔 営利活動と非営利活動の境界における市民事業 …………… 五 條 堀 陽 子 上層資産階層の教育における再生産戦略 ——60 年代以降生まれのライフスタイル調査から—— …………… 小 山 彰 子 人格形式論から親たルーマン理論の再構成 …………… 齊 藤 口 出 夫 子どものテレビ視聴に対する介入行動の規定因に関する研究 ——家族コミュニケーション要因を中心に—— …………… 志 岐 裕 子 メルロ＝ポンティの制度(化)概念 ——社会学との接点を求めて—— …………… 清 水 淳 志 行動の変動性に対する強化随伴性による制御可能性の検討 …………… 八 賀 洋 介 明治末期の優秀児、優秀児教育に関する論争の内容 ——雑誌『教育界』「高能児教育特集」を資料として—— …………… 南 真 紀 子 習慣的行為の動的再構成 …………… 村 井 重 樹 地域通貨を契機としたまちづくりの可能性と限界についての調査研究 …………… 山 田 賢 司